

2019年度幼児教育研修会 講座一覧

回	日程	研究主題	講師	会場	定員	
1	7月6日(土)	10:00～12:00	【心身の健康に関する領域：健康】 子どもの発達特性・児童虐待「被虐待児の行動について」	関西福祉大学 社会福祉学部 教授 佐伯 文昭	兵庫県中央労働センター 大ホール	120
		内容	保育所や幼稚園で虐待を受けた子どもは、親が迎えにきても帰りたいがらない、友達を求めない、友達を叩く、激しい癩癩を起こす、保育者との関係が深まらないなどの特徴があり、さまざまな不適応行動を示します。なぜ、そのような行動を示すのか、愛着形成の視点から考えます。			
2	7月6日(土)	13:00～15:30	【言葉の獲得に関する領域：言葉】 子どもの心と言葉を育てる絵本の読み聞かせ「絵本の仕掛け・読み聞かせの効果について」	鳴門教育大学 人文・社会系教育部 教授 余郷 裕次	兵庫県中央労働センター 大ホール	120
		内容	絵本にかくされたひみつや仕掛けが、子どもの発達にどのように関係するかを学びます。また、読み聞かせの実技を通して、子どもに良い効果をもたらす呼吸法、発音・発声法などを体験的に学習します。			
3・4	7月28日(日)	10:00～12:00	【感性と表現に関する領域：表現】 音楽あそび「子どもの意欲を引き出す音楽遊び・表現遊び～協同する心を育むために～」	京都ノートルダム女子大学 現代人間学部 准教授 植田 恵理子	兵庫県中央労働センター 大ホール	120
		13:00～15:00				
5・6	7月31日(水)	10:00～12:00	【心身の健康に関する領域：健康】 【身近な環境とのかかわりに関する領域：環境】 実技をとおして学ぶ運動あそび 「関係性を育むふれ合いゲーム」 「運動会を幼児教育として取り組むには」	社会福祉法人 種の会 理事長 片山 喜章	加古川市立総合体育館 サブアリーナ	120
		13:00～15:00				

7・8	8月18日(日)	10:00 ～ 12:00	【人とのかかわりに関する領域：人間関係】 「発達障害の子どもたちの困り感と支援の実際 ～発達を促す遊びや活動～」	株式会社 アニメーション プレイジム 代表 太田 篤志	兵庫県中央労働センター 大ホール	120
		13:00 ～ 15:00	内容 〈午前〉運動の能力や考える力、社会性、コミュニケーションなどの面で生じる子どもたちの苦手なことの原因を知り、子どもの立場で共感的に理解・支援する考え方や、苦手意識を克服する方法を補いながら、子どもの発達したいという思いを実現できるような支援方法などについてお伝えします。 〈午後〉子どもたちの全身運動や手先の運動、コミュニケーションを育む遊びの考え方を、ワークショップを通して体験していきます。			
9	8月20日(火)	10:00 ～ 12:00	【身近な環境とのかかわりに関する領域：環境】 【教育・保育に関する現代的課題】 これからの幼児教育 「これからの保幼小の接続と、子どもの発達に応じた好奇心・探究心の育ち～教育・保育に関する現代的課題を踏まえて～」	大阪総合保育大学 児童保育学部 教授 瀧川 光治	兵庫県立姫路労働会館 多目的ホール	150
		内容	幼児教育と小学校教育の接続期教育の開発が各地で進められています。幼児期の発達を踏まえ、それに適した育ちと学びを育むこと、小学校教育の内容と方法に関する理解を深め、資質・能力の育ちをつなぐ視点をもった乳幼児教育を行うことなど、今回の要領・指針の改訂を踏まえて考えていきます。その際、幼児期の終わりまでに育ってほしい姿の「思考力の芽生え」を視点において、子どもの好奇心・探究心の育ちの発達過程を踏まえて考えていきます。 【準備物】はさみ			
10		13:00 ～ 15:00	【感性と表現に関する領域：表現】 造形あそび・造形表現「音・形・色・動きを感じてあそぶー絵本を題材にしてー」	京都女子大学 発達教育学部 教授 山野 てるひ		150
		内容	音、形、色、手触り、動きは子どもたちが身の回りの世界を感じ取り、表現するための大事な要素です。身近な絵本から、遊びを通してそれら要素の関わりを感じる体験をします。			

※ 第1・2回、第7・8回については、2019年度子育て支援者等研修講座と合同となります。